

猫と僕

千葉県 我孫子市立我孫子中学校 一年 船造^{ふなづくり} 栄多^{えいた}

僕が剣道の稽古に行く日、お父さんの車で送って
もらった。

駅に着いたら猫の鳴き声。

車の前から子猫の顔。

エンジンルームに猫がいた。

二匹もいた。

びっくりした。

お父さんが子猫助け出そうとしたけど手が届かない。

J A Fを呼んだ。

車の底をはがして最初の一匹。

「にゃあ」小さな声。

もう一匹もあと少し。

もう安心。

灰色子猫を洗ったら、とてもきれいな色だった。

「この子お母さんは何処にいるの？」妹が聞いた。

お父さんが言った。

「この子たちのお母さんは、お父さんの車だよ。」

皆で笑った。

お母さんが言った。

「この子たちのお母さんはあなたたちよ。」